

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：7/9～7/13

・ 7/9(月)

西日本豪雨災害、タイの洞窟での救出劇などが報じられました。今日は放送法第四条の観点からの検証の対象となるトピックはありませんでした。また、西日本豪雨災害については検証者の所感を記しました。

・ 7/10(火)

赤坂自民亭とカジノ法案、オウム死刑囚、お茶の水女子大などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検証を行ったところ、赤坂自民亭とカジノ法案についての報じ方は放送法第四条に照らしてやや不十分なものでした。また、赤坂自民亭とカジノ法案については検証者の所感を記しました。

・ 7/11(水)

安倍総理が避難所視察、オウム松本元死刑囚の遺骨、公職選挙法改正、米中関係などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行ったところ、公職選挙法改正については放送法第四条の観点からは問題のあるものでした。また、安倍総理が避難所視察およびオウム松本元死刑囚の遺骨については検証者の所感を記しました。

・ 7/12(木)

中国人権問題、赤坂自民亭ツイートなどについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

・ 7/13(金)

公選法改正問題、「赤坂自民亭」問題などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。また、公選法改正問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年7月9日
<p>出演者：星浩、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙</p> <p>※星キャスターと皆川キャスターは岡山県倉敷市真備町から中継</p> <p>※雨宮キャスターは今週お休み</p>		
<p>検証テーマ：特になし</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨、死者 135 人は“平成最悪” ・松本元死刑囚の遺骨の行方 ・タイの洞窟救出劇、8 人を救出 ・点滴中毒死事件で新たな供述 ・俳優の加藤剛さん死去 ・日産、燃費・排ガス検査で不正 ・スポーツ報道 ・23Today <p>西日本豪雨</p> <p>松本元死刑囚の遺骨の行方</p> <p>中尾翔太さん、胃がんで死去</p> <p>介護会社で経理担当者が 1 億円着服</p> <p>大阪府、中 1 生徒が校舎から転落死</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 ・西日本豪雨災害への募金について 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>特になし</p>		
<p>最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>特になし</p>		
<p>検証者所感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨 <p>今日の報道は西日本豪雨が大きく取り上げられていた。</p> <p>検証者の友人の中にも西日本に住んでいる人が少なくないが、現地の様子が心配である。</p>		

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年7月10日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙</p> <p>※皆川キャスターは岡山県倉敷市真備町から中継</p> <p>竹内大樹(岡山 RSK のキャスターが岡山県倉敷市真備町から中継)</p> <p>小林康秀(広島 RCC キャスターが広島県府中町から中継)</p> <p>山田祐也(愛媛 iTV キャスターが愛媛県南予市から中継)</p> <p>福田正博 (TBS、W 杯解説者)</p>		
<p>検証テーマ：赤坂自民亭とカジノ法案、オウム死刑囚、お茶の水女子大</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨の被害 ・タイ洞窟、少年ら全員救出 ・赤坂自民亭とカジノ法案 ・旧大口病院の点滴中毒死、捜査に進展 ・オウム死刑囚 ・スポーツ報道 ・23Today <p>西日本豪雨 タイの洞窟 元巨人選手を窃盗容疑で送検 出光興産と昭和シェル統合：石油元売りは JXTG ホールディングとの2強体制に お茶の水女子大学、トランスジェンダー学生の受け入れへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風8号が沖縄に接近 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂自民亭とカジノ法案：結論→やや問題あり <p>平成最悪の被害となった豪雨災害が迫る夜に国会議員宿舎で開かれた赤坂自民亭と呼ばれる懇親会が問題視されていること、カジノ整備法案の実質審議が始まったこと、自民党は参議院の定数を6つ増やす公職選挙法の改正案も今の国会での成立を目指す方針であること、JNNの世論調査で今の国会で成立させるべきかどうかを聞いたところいずれも反対を賛成が上回ったとことが伝えられた。</p> <p>番組中では懇親会で乾杯の音頭を取ったとされる竹下亘総務会長の「もう開いてしまっておりますのでどのような非難にもお受けをしようと思っています。」というコメントや立憲民主党の蓮舫副代表の「石井大臣が人命よりギャンブル優先の審議を自ら選ぶとちょっと信じられない思いです。」というコメントが取り上げられた。</p> <p>またスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>駒田健吾「星さん、あの自民党の懇親会の前には気象庁が臨時の会見を行っていて記録的な大雨となる恐れがあると発表しているんですよね。」</p>		

星浩「今国会ではね自民党が提出している参議院の定数増の案を議論されているんですけども、この懇親会と自民党のその案、共通しているものがあると思うんですよ、内輪の論理っていいですかね、国民の目線よりも自分たちの都合とか自分たちの楽しみを優先しようということなので、やっぱり政治家というのは自分たちの行動が国民とか有権者にどういうふうに映るのかというのをいつも気にしていく必要があると思うんですけども、今回、私、そういう配慮は欠けていたかなという気がしますね。」

このトピックに当てられた時間は 268 秒だった。

選挙制度を巡る問題はどの政党にとっても非常にセンシティブな問題であり、確かに自民党案の参院比例の特別枠は合区に対する救済措置としての意味合いが強く感じられるものである。もちろんそうした選挙区でのこれまで自民党の議員が選ばれることが多かったからこそ、合区に対する救済という発想が自民党から出てくるという面はあるにせよ、それを「内輪の論理」と簡単にいい切って良いものではないだろう。特別枠の問題は合区に対する救済措置としての面が強いのであるから、そもそも合区問題で都道府県の代表を出せなくなる地域が出ることに對する是非と一票の格差問題の比較衡量、都道府県の代表を出せなくなる地域への救済の必要性の有無、また必要であるならより合理的な手段は考えられないのか、など論ずるべき問題は多々あるにもかかわらずそうした点に触れずに「内輪の論理」と言い切るのは放送法第四条一項四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らしても決して好ましい態度とは言えないだろう。

・オウム死刑囚の遺体：結論→問題なし

オウム真理教による一連の事件で死刑が執行された七人のうち、松本智津夫元死刑囚を除く六人の遺体や遺骨が昨日までに親族らに引き渡されたことがわかったこと、遠藤誠一元死刑囚の遺体はオウムの後継団体の施設に運び込まれていて公安調査庁は遺体が神格化されないか警戒を強めていること、松本元死刑囚の遺骨は東京拘置所で保管されていることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 30 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・お茶の水女子大がトランスジェンダー学生受け入れへ：結論→特に問題なし

東京文京区のお茶の水女子大学は 2020 年 4 月から戸籍上の性別が男性であっても本人が女性だと認識しているトランスジェンダーの学生を受け入れると発表したこと、入試での具体的な確認方法は今後検討するということが、入学した後の生活もサポートする方針であることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 24 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・クロージング：結論→特に問題なし

番組のクロージングでは以下に朱記したやり取りが繰り返され、明日は安倍総理が岡山を視察するとのことが伝えられた。このシーンに当てられた時間は 28 秒だった。

駒田健吾「被災地では猛暑が続きますよね。」

星浩「そうですね、今回の雨で泥がいっぱい上がってきましてね、道路も家の中も泥まみれというところもありましてね、それが埃になっているんですね、それに困っている姿良く見ましてな。」

駒田健吾「そして安倍総理は明日岡山を訪れるということで」

NEWS23 週刊報告 詳細版

星浩「そうですね、政治の役割は困っている人、弱い立場の人にいかに手を差し伸べるかとおもいますのでしっかり視察、現場を見てきてもらいたいと思いますね。」

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・赤坂自民亭

今回の赤坂自民亭と呼ばれた懇親会には安倍総裁の他にも岸田文雄政調会長(岸田派会長)、竹下亘総務会長(竹下派会長)が参加しており、秋の総裁選を睨んだ動きと言えそうである。そうであるなら「内輪の論理」とは言えても「自分たちの楽しみ」とは言えないように思える。単に「配慮は欠けていた」などというのは簡単であるが、せっかくなら総裁選を睨んだ政局としても掘り下げてほしかった。普段の NEWS23 なら星キャスターが岸田氏や竹下氏が参加していることなどから秋の総裁選にどのような影響を与える可能性があるのかなど、政局を踏まえた解説をしていただろうが、今回は非常に精彩を欠いていて残念だった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年7月11日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 福島隆史(TBS 解説委員 災害担当)</p>		
<p>検証テーマ：安倍総理が避難所視察、オウム松本元死刑囚の遺骨、公職選挙法改正、米中関係</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨、新たな避難指示 ・安倍総理が避難所視察 ・西日本豪雨、避難情報をどう生かすか VTR 後にスタジオで福島解説委員 ・オウム松本元死刑囚の遺骨 ・公職選挙法改正 ・タイ洞窟の少年 ・桂歌丸さん告別式 ・米中関係 ・スポーツ報道 ・23Today 西日本豪雨 松本元死刑囚の遺骨 5歳女児虐待死疑いの父親を大麻所持容疑で追送検 34編前の日野町事件、死亡男性の再審を認める 輸入うなぎの通関ピーク ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安倍総理が避難所視察：結論→特に問題なし 岡山県倉敷市の避難所には安倍総理が視察に訪れたこと、その安倍総理は先週木曜日、豪雨による避難指示などが出される中で国会議員宿舎で開かれた赤坂自民亭と称する会合に参加し災害対応に批判の声が上がっているとのことが伝えられた。また視察後に記者から「初動対応の遅れについては」と質問され、安倍総理が「あの、政府として一丸となって発災以来全力で取り組んでまいりました。現場の声を吸い上げ、国が自治体と一体となって対応していく考えであります。」と答えるシーンが取り上げられていた。 このトピックに当てられた時間は48秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。 ・オウム松本智津夫元死刑囚の遺骨：結論→特に問題なし オウム真理教の松本智津夫元死刑囚の遺骨について四女の代理人が会見し海に散骨するとの意向を示し国側に支援を求めたこと、四女の代理人である滝本太郎弁護士は、遺骨はオウム信者にとって神聖なものとして信仰の対象となる恐れがあることから特定の場所に保管するのではなく海にまくことで聖地にできないとしている 		

ことが伝えられた。

また瀧本弁護士の「遺骨をパウダー化および太平洋の不特定の地点から船から散骨するについて費用負担と業務を是非お願いしたい」、「私と四女を助けてください、こんな危なっかしいことを私と四女にいつまでさせるんですか。」というコメントが取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 90 秒で放送法第四条の観点からは特に問題はなかった。

・公職選挙法改正：結論→問題あり

来年の参議院選挙に向けて議員定数を 6 増やすとする自民党提出の公職選挙法改正案が参議院の本会議で可決されたこと、参院本会議に先立ち特別委員会では国民民主党などの野党が与党側が提案した自民党案だけを採決する動議に反発し石井委員長の不信任動議を提出して移行したものの結局自民党案が特別委員会で可決されたこと、今後も与野党の攻防が激しさを増しそうであることが報じられた。また、足立信也(国民民主党、筆頭理事)の「国民のための選挙、それを決める選挙制度の大切な委員会がこの形で終わったということは極めて残念。」というコメントや福山哲郎(立憲民主党幹事長)の「こんなことで選挙制度が変えられることになれば、日本の民主主義は壊れます。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた

駒田健吾「この自民党の案を巡っては、かつて自民党の参議院幹事長として定数是正に取り組むこちらの脇さんもですね、参考人として出席しまして『選挙制度は国民のためにあるのであって自民党のためにあるのではない』というふうに厳しく批判していましたが。」

星浩「そうですね、この法改正の問題点は大きく 2 つあると思いますね、一つはですね、その消費税を 5% から 8%、10% に上げるにあたって国会議員も身を切る改革をするんだ、と約束しているんですね、定数削減をします、その約束にもかかわらず定数を 6 つも増やすということが一つですね、もう一つはですね、前回の参議院選挙から 2 年過ぎているんですけどもこの間に、政権与党、自民党を中心に抜本改正をしなくちゃいけないわけです、法律にもそう書いてあるんですけど、それを怠ったという責任は大きいと思いますね。結果として、その急ごしらえのですね、お手盛りの法改正になってしまったということですよ。」

そもそも国会の「身を切る改革」というものが議員定数削減である、という点がよくわからない。確かに現職の中には議員でいられなくなる人も出てくるだろうが、議席を維持できる見込みの高い議員にとっては議員定数が削減されようが「身を切る」ことにはならないだろう。むしろ、そこで身が切ることになるのは、選挙区数を減らされる地方であるとか、比例の枠を争うことになる各種団体であり、ひいては自分たちの声を代弁してくれる人が減ってしまう、国民自身ではないだろうか。

また、抜本改正というが、これも議員定数の問題は一票の格差もさることながら、人口流出の進む地方をどうするのかという問題も関連してくる話である。衆議院も参議院も人口動態に合わせて選挙区を調整していくべきであり、人口減少の進む地方で合区が進みそうした地方選出の議員が減るのは仕方がない、あるいは選挙区は人口動態に合わせて調整されるべきであり、人口流出の進む地域の選挙区は再編して減らすべきだという考え方も一つの考え方ではあるだろう。しかし、こうした考え方は政府が掲げている「地方創生」や地方から都市への人口流出や地方の衰退をどう食い止めるかという多くの国会議員が抱いている問題意識とは対立する。そうした論点についてもスポットを当てるべきであろう。そういう意味では放送法第四条一項四号の「意見が対立している

問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点では不十分なものであるといえる。

また、そもそも自民党案のメリットはどこにあるのか、という点についても自民党からの意見の紹介がなかったこともあり、これは同二号の「政治的に公平であること」という観点から問題であると言える。

なお、このトピックに当てられた時間は 154 秒だった。

- ・米中関係：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ政権が新たに 10%の追加関税を課す中国製品のリストを公表したことを受けて、中国政府は新たな報復措置に乗り出す考えを明らかにしたこと、今回のアメリカの措置は一国主義の行動だとして WTO 世界貿易機関に追加提訴する方針を示していることが報じられた。このトピックに当てられた時間は 29 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・安倍総理が避難所視察

赤坂自民亭については批判の声が上がっていると報じられていたが、批判の声がどこからどのように上がっているかは特に取り上げられていなかった。こうした「批判の声が上がっている」という報じ方については、そうした声をどこでどう拾ってきたのかという点についても示す必要があるのではないだろうか。

- ・オウム松本智津夫元死刑囚の遺骨

死刑囚の遺体や遺骨をどうするのかというのが新たな問題となる今回のような事案がある以上は、死刑囚の遺体・遺骨の処理について見直す必要があるのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年7月12日
出演者：星浩、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：中国人権問題、赤坂自民亭ツイート		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨 ・松本元死刑囚執行直前の様子が明らかに ・中国人権問題 ・マヨネーズ離れ ・米アップル元社員が機密情報を盗み逮捕 ・スポーツ情報 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 生後六か月次男暴行死で父親逮捕 聖火リレーが福島からスタート 赤坂自民亭ツイート ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国人権問題→結論：放送法第四条の見地からは問題なし <p>近年強まっている中国の言論、思想統制についての報道。人権派弁護士として中国各地を飛び回っていた王全璋さんの妻である李文足さんへの取材が主に報じられた。王全璋さんは3年前の7月9日に中国各地で人権派弁護士や活動家が一齐に身柄を拘束された709の大拘束で実際に拘束された一人で、未だに裁判すら行われず安否が心配されている。妻の李文足さんは解放を訴える抗議運動を行ったものの当局に拘束され軟禁状態に置かれた。李さんは取材に対して「3年も経つのに弁護士にも家族にも面会させない。最も基本的な権利のはずなのにどこが法治国家だというのでしょうか。」と中国政府の姿勢を批判していた。</p> <p>これを受けてスタジオの星浩氏は中国の言論統制強化について「政府の高官の味方によりますとねアメリカの影響があるんじゃないかって言うんですね。オバマ政権の時はないかというところ民主化を進めてほしい人権問題についてクレームをつけてましたけども、トランプ政権になって貿易問題ではないいろいろ注文つけてるんですけども、人権にほとんど触れてませんのでね、その影響の中でその習近平政権がやや人権思想統制の方に行こうとずっと舵を切っているとそういう傾向で、これはどうもしばらく続きそうだという見方が強いですね。」と解説していた。なおこのトピックスは376秒報じられ、放送法上特に問題は見られなかった。</p> ・赤坂自民亭ツイート→結論：放送法四条の観点からは問題なし <p>大雨で避難指示などが出されていた5日の夜に自民党の懇親会赤坂自民党の様子をツイッターで公開した西村官房副長官が国会で謝罪したことについての報道。このトピックスの報道時間は20秒で特に賛否が分かれる点や問題点は見当たらなかった。</p> 		

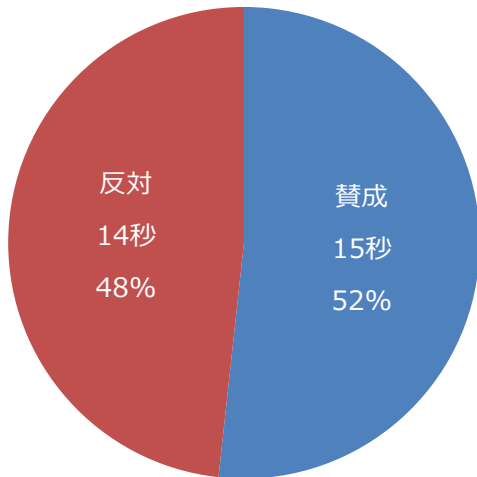
NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS テレビ	番組名： NEWS23	放送日： 2018 年 7 月 13 日
<p>出演者：</p> <p>星浩、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙</p>		
<p>検証テーマ：公選法改正問題、「赤坂自民亭」問題</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨から 1 週間 ・猛暑予報で気象庁が異例会見 ・麻原彰晃の主治医 中川元死刑囚最期の言葉 ・参院定数 6 増の公選法改正案、衆院で審議入り ・「赤坂自民亭」問題、与党公明党からも批判 ・メキシコでショッピングセンターが崩壊 ・スポーツ報道 ・23Today <p>西日本豪雨から 1 週間</p> <p>猛暑に気象庁が異例の注意喚起</p> <p>新幹線 3 人殺傷事件 容疑者の鑑定留置 開始</p> <p>中国の工業団地で爆発 19 人死亡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公選法改正問題：結論→特に問題なし <p>今回の報道は参議院の定数の 6 増などを定めた公職選挙法改正案についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 188 秒だった。現在主に国会で議論されている自民党提出の改正案について肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ、賛否の時間配分及び比率は以下の通りだった。</p>		



なお、賛成意見では自民党所属の石井正弘参院議員の「人口減少県の民意を国政に届けることを求める声も高まってきているということ、現代社会において民意の多様化が著しいことなどを踏まえまして」が紹介され、反対意見では立憲民主党国対委員長の前田清美衆院議員の「議員の数を減らしましょう、という議論をどうするかがテーマだったはずなのに、いつしか増やす、自民党の都合のいいように増やしてらっしゃる、私は憤りを感じています」という見解が紹介されていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

駒田キャスター「参議院の定数を増やす改正案は、参議院では可決されました。衆議院でも可決、成立とあっさり決まっていくのでしょうか」

星キャスター「まあ参議院の問題ですけど、衆議院も国民の代表ですからしっかりしてもらいたと思いますが、そもそもこの法案は自民党が提出しているのですね、ただ今回の流れを見るに法案作りは参院自民党に丸投げで、(安倍首相の)総裁としてのリーダーシップは発揮されなかった」

駒田キャスター「最近では国会議員の定数を減らすという傾向でしたが」

星キャスター「減らして、定数是正を進めていくという、中々難しいのですが。今回のように定数を増やして定数是正を行うということが罷り通れば、今度は衆議院でも定数是正をするときには定数を増やしましょうということになりかねないという点でも今回の法案の問題は大きいと思いますね」

放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・「赤坂自民亭」問題：結論→特に問題なし

今回の報道は、先週発生した西日本豪雨の直後に自民党議員が懇親会を開いていたことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 55 秒だった。なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・公選法改正問題

放送のなかで、公選法改正を推進する立場から自民党の石井正弘参議院議員の「人口減少県の民意を国政に届けることを求める声も高まってきているということ、現代社会において民意の多様化が著しいことなどを踏まえまして（公選法改正は必要＝検証者注）」とのコメントが紹介されていたが、現代社会において民意の多様化が著しいということであれば、尚更都道府県という明治時代に策定された旧態依然とした行政区画を単位とした参院の選挙区割り時代が時代に即していないといえないであろうか。